

70周年準備委員会事業計画

70周年準備委員会 委員長 荒川 博紀

60周年の経験者が少数となりアカデミーメンバーが増加傾向にある我々は、60周年の際の引継ぎや過去2年間の事業への検証を踏まえた上で、より綿密な計画や準備が求められています。70周年への準備委員会設立から3年目を迎え、開催を翌年に控える我々は、各先輩方の汗と涙の結晶である幾多の歴史や伝統と、時代の中で見極めてきた英知と勇気ある行動への見識を深めた、能動的に行動できる人材を育成していく必要があります。

まずは、先輩諸氏を始めとし行政や関係諸団体、各地友好LOMの皆様との信頼関係をより緊密とするために、新組織体制における気概に溢れた運動方針を、WEB配信等も活用し発信するとともに、水戸青年会議所の沿革に対する日頃の感謝を伝えることで、地域に根差したさらに強固な互恵関係を築きます。そして、周年事業を想定した厳粛かつ円滑な運営での新たなスタートを切るために、70周年を見据えた新春賀詞交歓会の内容とすることで、周年という節目に対する我々一人ひとりの責任感と組織の連帯感が強化されます。さらに、彰往考来精神のもと、過去の事業がまちへともたらした影響の検証を未来へ繋げるために、当時の運動の深掘りと過去の歴史を教訓とし、水戸の未来を思い描く研修事業を行うことで、周年事業や今後のJC活動において、先見の明に優れ素晴らしい発想をもつ人材が育成されます。また、翌年の実行組織のみならず我々一人ひとりが周年準備へ主体的な行動をするために、必要な作業のタスク管理と個々の役割を明確化し、各々がその資料を読み解くことで、LOMとしての万全を期した準備と心構えを確立します。

紐解いた過去への回顧と未来を想像し新たな展望を見出した我々は、先達への感謝と尊敬を胸に抱き、新たな時代の中で日々変化する市民の声に耳を傾け、茨城キャピタルLOMとして地域を牽引していく誇りをもつ、能動的に行動する人材が溢れた団体となります。

<事業計画>

1. 対外との連携を深める新春賀詞交歓会の開催
2. 70周年を見据えた新春賀詞交歓会の開催
3. 未来を思い描き感謝の念に溢れる事業の開催
4. 70周年に向けての事前準備